

漁海況月報

No. 11

平成 16 年 11 月 1 日

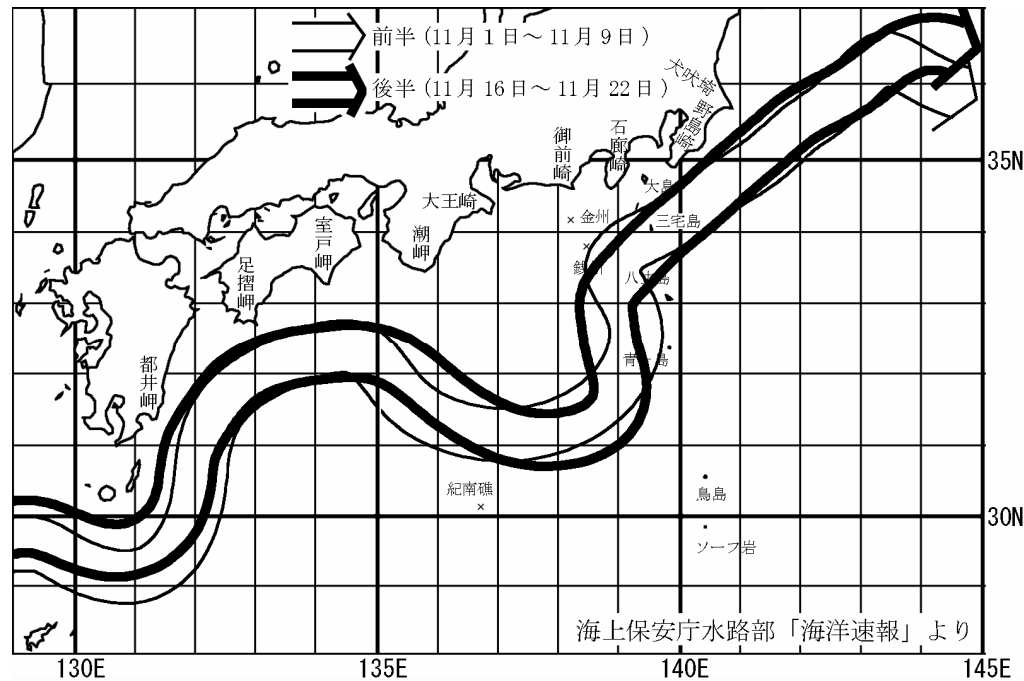
～ 11 月 30 日

静岡県水産試験場

(電話 054 627 4815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558 22 0835)



【黒潮流路】

黒潮は、月を通じて A 型流路で伊豆諸島の西側を北上、三宅島の北を通過し、房総半島に接岸して流れていた。中旬後半に三宅島の南を通過する変動があったが一時的で、下旬後半には再び三宅島付近を通過した。

【県下沿岸域】

定地水温は、相模湾側で 19～21 台、駿河湾東部では 20～22 台、駿河湾西部では 16～22 台で経過した。全ての測点で平年を 1～3 上回る水温を観測した。これは、黒潮大蛇行により暖水が沿岸に運ばれていることによると考えられる。

【竿釣近海カツオ】

11 月の県内主要 5 港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は 95 トンで前年同期の 339% であった。魚価は 428 円/kg で、前年同期を上回った。

中型竿釣船の記録（QRY）及び御前崎市場での調査によれば、11 月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

33°～35°N、139°～141°E で漁場が形成され、大、中、特々大、特大、小、極小、チンカツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量（県内主要 5 港）

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
16 年 11 月上旬	15	13	1.2	561
中旬	44	16	2.8	317
下旬	36	19	1.9	508
16 年 11 月計	95	48	2.0	428
15 年 11 月計	28	15	1.9	380
14 年 11 月計	6	3	2.0	456

【定置網】

平成 16 年 11 月、伊豆半島東岸大型定置網 8 か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）における水揚量は 315 トンであった。1 漁場当たり水揚量 39.4 トンは、前年 19.5 トンの 2.0 倍、平年値（昭和 57～平成 15 年平均値）33.3 トンの 1.2 倍であった。

魚種別にみると、マルソウダ 107 トン（前年の 5.3 倍、平年の 3.6 倍）サバ類 65.5 トン（前年の 2.1 倍、平年の 1.6 倍）マアジ 46.6 トン（前年の 1.8 倍、平年の 2.1 倍）サンマ 45.4 トン（前年の 3.8 倍、平年の 1.6 倍）カタクチイワシ 6.9 トン（前年の 314 倍、平年の 36 倍）の順に多かった。

マルソウダは北川を中心に入網し、昭和 57 年以降では最も水揚量が多く、尾叉長の中心は 30～33cm であった。サバ類は古網及び赤石を中心としてゴマサバ主体で入網し、ゴマサバの尾叉長の中心は 24～27cm 及び 31～33cm であった。マアジは谷津及び伊豆山を中心に入網し、尾叉長の中心は 16～19cm であった。サンマは北川及び谷津を中心に入網し、両漁場を合わせるとサンマ全漁獲量の 88% を占め、肉体長の範囲は 25～35cm であった。カタクチイワシは昭和 57 年以降では最も水揚量が多く、カタク

2004 年 11 月

定地水温の旬平均値 ()

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	20.7	22.2	21.4	22.2	22.1	22.2	19.8
	0.7	1.5	1.2	1.2	1.9	2.4	0.7
中 旬	20.0	21.2	21.0	21.3	21.0	21.7	19.4
	0.8	1.4	1.8	1.0	1.4	2.8	1.3
下 旬	19.8	20.8	19.9	20.4	20.0	20.4	17.4
	1.5	1.9	1.6	1.3	1.4	2.5	0.3
月平均	20.2	21.4	20.8	21.3	21.1	21.4	18.9
	1.0	1.6	1.6	1.1	1.6	2.5	0.8

チイワシ全漁獲量の95%を古網漁場が占め、被鱗体長のモードは10.0~10.5cmであった。

漁場別水揚量は、マルソウダ及びサンマの漁獲が多かった北川(111トン)、マルソウダ及びサバ類の漁獲が多かった赤石(43.3トン)、サンマ及びマアジの漁獲が多かった谷津(40.6トン)の順であった。

[サクラエビ船曳網]

平成16年秋漁は11月4日夜が初漁となった。11月の水揚量は10日で168トンとなり前年を上回ったが、1日1か統当りでは前年を下回った。漁場は焼津沖から相良沖にかけて形成された。

また、漁獲されたサクラエビは、体長31mmにモードを持つ当歳エビと39mmにモードを持つ1歳エビで構成された。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成16年11月 上旬	55	4	平均 229	焼津~榛原沖
中旬	1	1	平均 18	焼津~大井川沖
下旬	112	5	平均 373	大井川~相良沖
平成16年11月 計	168	10	平均 280	-
平成15年11月 計	124	4	平均 515	三保~吉田沖
平成14年11月 計	76	5	平均 253	久能~安倍川沖

[サバたもすくい棒受網]

小川港に水揚げされたサバ類は1,243トンですべてゴマサバであった。漁場は新島、高瀬、三宅島近海に形成され、水揚げされたゴマサバは25cm以下の大きさの2004年級群が主体であった。1kg当りの平均単価は漁獲量が多く、小型であったことから26円と安かった。

小川港 サバ類(棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成16年 上旬	454	4	16	28.4	新島、高瀬
11月 中旬	293	3	12	24.4	新島、高瀬
下旬	496	5	18	27.6	新島、高瀬、三宅
計	1,243	12	46	27.0	- - - - -
平成15年11月	678	6	30	22.6	銭洲、三宅
平成14年11月	407	6	33	12.3	三宅

[まき網]

小川港では、マイワシは78.6トン水揚され、平年同期(過去5か年平均:159.6トン)の49%と低調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

沼津港では、マイワシは114.2トン水揚され、平年同期(61.3トン)の1.9倍と好調であった。カ

タクチイワシは水揚されなかった。

静浦港では、マイワシは7kg水揚され、平年同期(水揚なし)とほぼ同じであった。カタクチイワシは水揚されなかった。

伊東港では、マイワシ、カタクチイワシともに水揚されなかった。

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で51kg、遠州灘で57kgだった。主要6港平均では54kgと前年同期(245kg)の22%、平年同期(過去5か年平均:154kg)の35%であった。11月の総水揚量は71.5トンと、前年同期(486.3トン)の15%、平年同期(263.5トン)の27%に当り、極めて低調であった。平均単価は1,810円/kgと前月より上がり、平年同期(829円/kg)の倍以上となった。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	2.6	11	74	35	1,902
舞 阪	11.4	12	211	54	1,560
福 田	15.4	10	245	63	1,497
御前崎	10.1	15	167	61	1,734
吉 田	20.1	14	360	56	1,867
静 岡	12.0	12	264	45	2,399
平成16年11月計	71.5	-	1,321	54	1,810
平成15年11月計	486.3	-	1,983	245	662
平成14年11月計	361.4	-	1,635	221	765

[調査船の動向]

富 士 丸

11月2日~ 南方カツオ調査(29日間)

駿 河 丸

11月2日 駿河湾にてCTD試験(1日間)

11月4~5日 久能沖にてトラフグ試験操業

11月8~10日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(3日間)

11月11日 波勝崎沖にてマリンロボ調査(1日間)

11月16~17日 駿河湾内にて静大の深層水調査(2日間)

11月24~25日 三宅島沖にてサバ漁場環境調査(2日間)

11月29~30日 稲取沖にてマリンロボ調査(2日間)